

5

まちづくり宣言別計画（個別施策）

まちの将来像の実現に向けて、10のまちづくり宣言に基づく39の基本施策からなるまちづくり宣言別計画（個別施策）を策定し、各部門において市民との協働により計画的に施策を推進します。

●まちづくり宣言別計画（個別施策）の見方

まちづくり宣言別計画（個別施策）には、次の項目を記載しています。

※印を付した本文中の専門用語・外来語などについては、巻末の参考資料「用語解説」に記載しています。

「基本施策」の名称と基本施策を構成する「個別施策」の名称を記載しています。

「個別施策」の名称と、「施策コード」、主な「担当課」を記載しています。

個別施策に関連する本市を取り巻く「現状・課題」を記載しています。

個別施策の推進によって本市が「目指す姿」と、その達成度を測る「目標指標」を記載しています。

個別施策に関する具体的な取り組みの方向を「施策の展開方向」として記載しています。

特に重点的・優先的に取り組む事業として「重点事業」の内容を記載しています。

基本施策 2 (宣言 1)

医 療

1

1 地域医療の充実
 2 救急医療の充実

1 地域医療の充実
施策021
健康推進課

▶ **現状・課題**

今日では、高齢者が増加傾向にあり、市民の健康寿命※を延ばしていくことが、地域の活力の源にもつながる重要な課題となっています。健康寿命を延ばしていくためには、医療における人材不足を解消し、地域の医療体制を充実していくことが不可欠です。看護医療を担う地元看護学校の尾北看護専門学校は、今後、さらに管内医療機関への就職を推進し、地元医療の充実や人材不足の解消をしていくことが必要となります。また、在宅医療を行う訪問看護ステーションの支援を強化するとともに、今後も一般社団法人尾北医師会と協働しつつ、地域の診療所と専門医療や高度医療としての役割を担う病院との病診連携を強化し、救急医療に関する第1次救急医療機関※、第2次救急医療機関※、第3次救急医療機関※による機能分担と連携を明確にすることにより、地域医療を充実させていくことが必要です。

▶ **目指す姿と目標指標**

一般社団法人尾北医師会による協力と指導のもとで、地域の診療所と病院が連携した地域診療システムが確立し、市民が安心して医療を受けることができます。

目標指標	単位	当 初	実績値	目標値
				2022年度
◆尾北看護専門学校卒業生の管内就職率	%	47.5 (2009年度)	36.4 (2015年度)	50.0
尾北看護専門学校卒業生の管内医療機関への就職率。尾北看護専門学校を支援することで、地域医療の重要な担い手として看護師の育成を図り、管内就職率50%を目指します。				
◆第2次及び第3次救急医療機関数	施設	3 (2009年度)	3 (2015年度)	3
地域診療所の後方支援の役割を担う圏域での第2次及び第3次救急医療機関の数。尾張北部地域では、社会医療法人志聖会総合犬山中央病院（第2次）、医療法人仁会さくら総合病院（第2次）、愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院（第3次）が第2次及び第3次救急医療機関として指定されており、今後も医療機関の充実や病診連携の強化の継続を目指します。				

▶ **施策の展開方向**

1	病診連携の推進	一般社団法人尾北医師会との連携により、地域の診療所と病院との病診連携を強化するとともに、かかりつけ医の定着化などを進めます。
2	看護師育成の支援	管内にある尾北看護専門学校の運営にかかわる支援を継続して行い、地域医療の充実に必要な看護師育成を支援します。
3	尾北看護専門学校卒業生管内就職の推進	尾北看護専門学校を卒業する看護師に対して、管内の医療機関への就職を促進し、管内医療機関の充実や人材不足などの問題解消を図ります。

▶ **重点事業**

病診連携の推進事業	一般社団法人尾北医師会と連携し地域の医療機関の相互連携と機能分担を促進することで病診連携体制の強化を図ります。
-----------	---

50

42